

# 一日一日を楽しみながら生活を続けていきたい

令和5年4月からご入居された

## 北口 賢二様

北口様は、南阿蘇で奥様と一緒に過ごしておりましたが、令和4年の夏に奥様を亡くされ、お一人暮らしとなり、お子様からは同居の提案もあったそうですが、北口様は『ひとりの方が気楽』というお考えもあって、グランガーデンへの入居を検討されたそうです。「南阿蘇での生活はとも気に入っていました。やはり商業施設が近くにはなかったり、生活には車が必須なので、元気なうちはいいですが、高齢になってからは利便性のいい街中で生活する方が安心だと思っています。災害の心配もしなくていいですね。グランガーデンでの生活は自由がきくから何にも困ることはないです。こういう環境で生活できて、恵まれていると感謝していますよ」と話されます。

長年スポーツクラブに通われており、入居後も週に5日はスポーツクラブのプールで水中歩行をするのが日課だそうです。その他にも、ご友人と食事に出かけたり、元々経営されていた会社へ会長職とし

て定期的に顔を出されるなど、メリハリのある生活を送っていらっしゃいます。「今はまだ車も運転できるし、あちこち行くことが多いから、日中はほとんどグランガーデンの部屋にはいませんね。もう年だから、いつまでこの生活を続けられるかは分からないけれど、できるうちは一日一日を楽しんで生活していきたいです」と笑顔でお話下さいました。

日中は外出をされることが多い北口様ですが、夕食はレストランで取られたり、大浴場を利用されるなどグランガーデンの設備もしっかり活用してくださっています。「お部屋にも浴室はあるけどほとんど使わずに大浴場の方を利用しますよ。そこで他の入居者さんとも交流があるしね。食事も外食したり、4階のレストランを利用したり、予定に合わせて使っています」とのこと。

ご家族がグランガーデンを訪ねてこられることもあるそうで「最近によく孫が訪

ねてきてくれます。ひ孫も生まれてね。南阿蘇の自宅も孫が受け継いでくれたので安心しました。年末には、毎年阿蘇の自宅に親族集まって過ごすのが恒例なので、今年も行ってきました」と嬉しそうに教えてくださいました。

スタッフにも、いつも気さくに話してくださる北口様。入居後は、他のご入居者はもちろん、駐車場のスタッフやテナントのスタッフとも楽しそうにお話されているのをよくお見かけします。「人と話すのは大好きでね、全然知らない人にでもすぐ声かけちゃうんだよ」と笑いながら教えてくださいました。これからもグランガーデンでの生活を楽しんでいただきたいと思います。

